

漢詩（解答）

◆黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る

故人西辞黄鶴楼
煙花三月下揚州
孤帆遠影碧空尽
惟見長江天際流

①この漢詩の形式はなにか。七言絶句

②この漢詩の作者は誰か。代表的詩人としてなんと称されていたか。李白・詩仙

③この漢詩の書き下し文を書きなさい。

故人西の方、黄鶴楼を辞し

煙花三月揚州に下る

孤帆の遠影、碧空につき

惟だ見る長江の天際に流るるを

④この漢詩の現代語訳を書きなさい。

昔からの友人である孟浩然が、黄鶴楼に別れを告げようとしている。

霞だつて花が咲いているこの三月に揚州へと下っていくのだ。

船の帆がだんだんと青空に吸い込まれるように小さくなっていく。

そのうちただ長江が天際に向かって流れているのを見ただけになってしまった

⑤この詩で韻を踏んでいる部分はどこか。楼・州・流

⑥一行目「故人」とあるが、漢文ではどのような人のことを言うか。古くからの友人

⑦四行目にはある表現技法が使われている。それはなにか。倒置法

⑧タイトルにある孟浩然はどういう人か。中国の詩人

⑨この詩は①どこへ向かう②誰を③誰が④どこで見送った時の詩か。

①揚州 ②孟浩然 ③李白 ④黄鶴楼

◆春望

国破山河在
城春草木深
感時花濺淚
恨別鳥驚心
烽火連三月
家書抵萬金
白頭搔更短
渾欲不勝簪

①この漢詩の形式は何か。 五言律詩

②この漢詩の作者はだれか。 代表的詩人としてなんと称されていたか。 杜甫・詩聖

③この漢詩の書き下し文を書きなさい。

国破れて山河在り

城春にして草木深し

時に感しては花にも涙を濺ぎ

別れを恨んでは鳥にも心を驚かす

烽火三月に連なり

家書万金に抵る

白頭搔けば更に短く

渾(すべ)て簪に 勝へざらんと欲す

④この漢詩の現代語訳を書きなさい。

都が破壊されても山河は残っており、都に春が巡ってきて草や木が生い茂っている。

時代を感じては花をみて涙を流し、別れを恨んでは鳥の鳴き声を聞いていても心が痛む。

戦乱が3ヶ月続いている中で、家族からの手紙は大金と同じぐらい貴重だ。

頭の白髪は頭を搔くたびに短くなって、冠をとめておくピンさえもつけられなくなろうとしている。

⑤この詩で韻を踏んでいる部分はどこか。 深・心・金・簪

⑥対句はどこに使われているか。 一句目と二句目、三句目と四句目、五句目と六句目

⑦「国破れて山河あり」とはどのような事を言っているのか。

人の作った国は破壊されても、山や川は昔のままに変わらないこと。

⑧「家書万金に抵たる」からは作者のどのような思いが伺えるか。

家族からの手紙を待ち焦がれる気持ち。

⑨この詩にはどのような心情が込められているか。

戦乱の世への不安と不遇のまま老いていくことへの悲しみ